

環境活動 での信頼

当社の環境方針に則り、環境保全活動を推進することで、資源循環型社会の構築に貢献しています。

29-31 環境マネジメント

環境方針と推進体制
環境に関する物質フロー
環境マネジメントシステム
環境保全への改善計画

32-38 環境保全活動

地球温暖化防止対策
大気汚染物質の排出削減
水質汚濁防止対策
副産物リサイクルの推進
環境リスク低減の取り組み
環境意識の啓発活動
環境負荷低減に貢献する製品・設備
環境保全コスト



環境方針と推進体制

環境保全活動の基本となる環境方針を定め、その推進体制を構築しています。

環境方針

〈理念〉

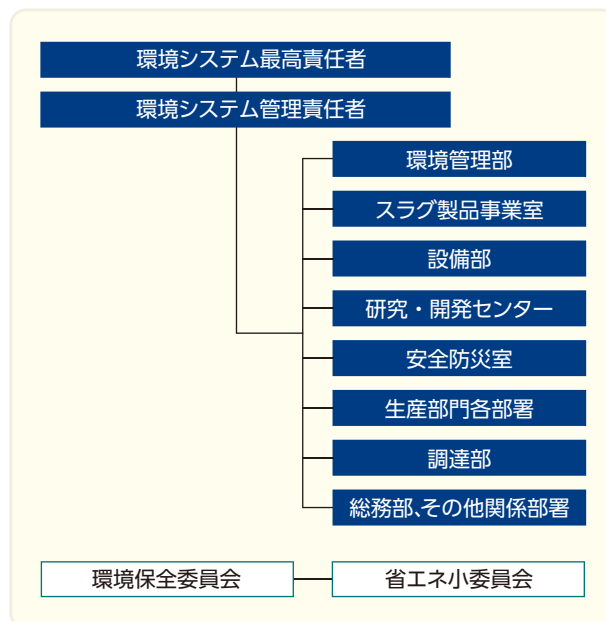
我々は環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し、北に世界文化遺産国宝「姫路城」、南に瀬戸内海国立公園を臨む豊かな環境に立地する企業として、事業活動の全ての段階において環境の保全に配慮し循環型社会の構築に貢献する。

〈方針〉

当社は、特殊鋼および非鉄金属を製造・販売する工場であることを踏まえ、以下の方針に基づき環境マネジメントを実施する。

- 1) 鉄スクラップを原料とする鉄鋼製品の製造を通じて、金属資源のリサイクルに貢献する。
- 2) 環境関連の法律、規制、協定などを順守するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善に努め、環境に影響を与える恐れのある事業活動を責任を持って管理する。
- 3) 事業活動の全ての段階で環境への負荷を低減し、環境保全に貢献するため、省資源・省エネルギー、副産物の再資源化・廃棄物の削減および汚染物質の排出抑制を推進し、環境汚染の予防に努める。
- 4) この環境方針達成のために、環境目的および環境目標を設定するとともに、少なくとも1年に1回これを見直し、必要に応じて改訂を行う。
- 5) この環境方針を全従業員に教育訓練により周知徹底させ、環境システムを確実に運営管理するために、環境管理部長を環境システム管理責任者に任命する。

■ 推進体制



環境に関する物質フロー

資源循環型社会の構築に寄与すべく、資源の3R活動(リデュース、リユース、リサイクル)を推進しています。

リデュース

当社で使用している主なエネルギーは、電気炉で使用する電力と、加熱炉やコージェネレーションシステムの燃料となる都市ガス(天然ガス)などです。各工程の省エネルギー対策や操業改善によりエネルギー使用量削減に努めています。
また、各工場から発生する廃棄物・副産物の削減にも努めています。

リユース

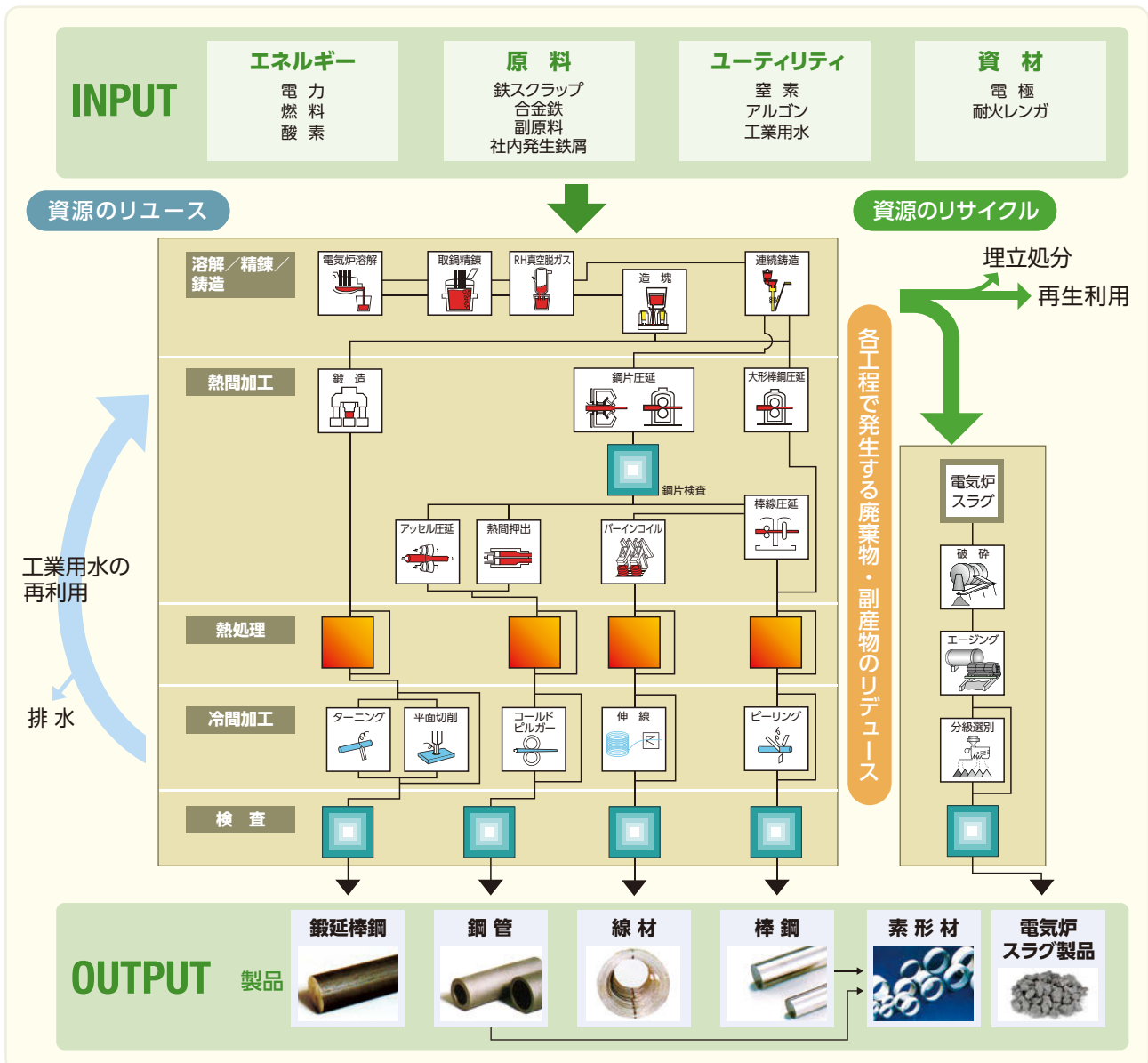
当社で使用しているユーティリティは、不活性ガスや工業用水などです。工場内で使用する水の大部分は、水資源を有効に利用するため、排水処理施設で処理後、再利用しています。
また、各工程で発生する副産物の再利用にも努めています。

リサイクル

当社では、鉄スクラップを主原料とする電気炉製鋼法により特殊鋼を製造しており、鉄鋼資源の循環と有効利用に貢献しています。原料のうち鉄スクラップが占める割合は約80%で、社内リサイクル材を含めると、原料の約95%がリサイクル品です。
また、電気炉スラグを製品化し、路盤材に利用するなど、副産物のリサイクルにも取り組んでいます。

環境活動での信頼

特殊鋼の製造とマテリアル・フロー



環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステムの運用を通じて、環境保全活動を積極的に推進しています。

環境マネジメントシステムの運用

当社は、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、毎年の内部監査と外部審査を通じて定着を図っています。

内部監査では、若手従業員も監査の場に同席し、環境マネジメントシステムへの理解促進につなげるとともに、システムの改善に取り組んでいます。また管理職を外部講習会へ派遣するなど、内部監査員の継続的な養成にも力を入れています。

関係会社では、サントクテック株式会社がISO14001の認証を取得しています。

改善も進んでいると評価され、ISO14001の認証登録が継続されました。

■ 環境マネジメントシステムモデル



2015年度審査状況

2015年度の外部機関によるサーベイランス審査では、環境マネジメントシステムが機能しており、継続的

環境保全への改善計画

当社では、環境保全に関する改善計画を策定し、環境負荷低減につながる有効な諸施策を日常的・継続的に実施しています。

■ 環境保全改善計画と2015年度実績

項目	取り組み方針	中期計画	2015年度実績
省エネルギー・地球温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> 省エネの推進 加熱炉のリジェネバーナー化 大型モーターのインバーター化 照明機器のLED化 	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量 (目標：2016年度にBAU[※]比1.1%削減) 	<ul style="list-style-type: none"> 大型モーターのインバーター化 照明機器のLED化 旧式空調機の更新 高効率コンプレッサーの導入
副産物の再資源化	<ul style="list-style-type: none"> 生産活動における副産物の低減と資源の有効利用 	<ul style="list-style-type: none"> ダスト、汚泥の埋立量削減 レンガくずのリサイクル率向上 	<ul style="list-style-type: none"> ダスト、汚泥、レンガくずのリサイクルについて、環境安全性と経済合理性に配慮しながら新規用途を検討
工場緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 工場内緑化の推進 植樹による景観の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 工場立地法規制緩和による敷地の有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> 条例制定により緑地面積率が緩和され、緑地の有効利用を検討
従業員への教育・啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 従業員への教育・啓発活動の定期的実施 環境に関する公的資格保有者の増員 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員への教育・啓発活動の定期的な実施 環境関連資格者数の増員 	<ul style="list-style-type: none"> 地域美化活動に参加(約300名) 環境家計簿の記録(50名)
情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーへの積極的な情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 環境報告書の定期的発行 自治体などの環境行政への協力 	<ul style="list-style-type: none"> 「CSR報告書2015」の発行、ホームページでの公開

※ 特別な対策をとらないケース(Business As Usual)